

中学校体育館、グランドが竣工 21世紀に向け教育環境を整備 竣工式を挙行、新たなる出発

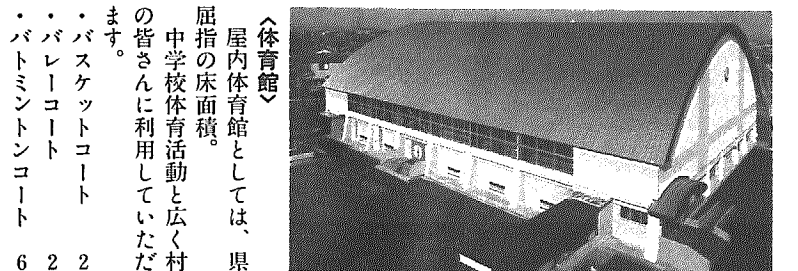


式辞を述べる浅見村長

戦後新教育制度が発足するや、逸早く横越中学校創立のため校舎、体育館の建設を進め学校運営を図ってきました。しかし、資材不足の時代でもあり、校舎は木造で狭かったため、一部教室棟は鉄筋校舎に改築を図りましたが、屋内体育館まで及ばず、屋根の耐久力は著しく老化し、床も沈下を起して、球技活動にも事欠くことが多くありました。

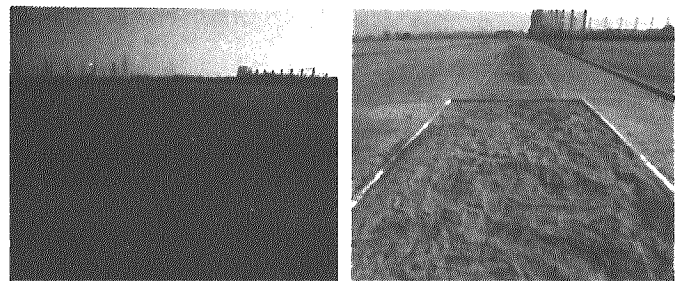
また、屋外グランドも狭いため百メートル直線コースもとれず、隣接地の宅地化により、地下水位の上昇による湿潤化で雨後二三日は使用できない状況でありました。そこで、地域関係者のご理解、ご協力を頂き、グランドの拡張ができ、平成二年度から二ヶ年事業でグランド整備が図られました。

更に、平成三年度は、新体育館を完成することができましたことにより、積年の懸案でありました横越中学校の体育施設整備事業を完了することができ、四月十一日に関係者百五十名が参加して体育館、グランドの竣工式を挙行致しました。



全景

〈グランド〉
のびのびとしたトラックと
フィールドで心身を鍛える



トラック

直線8コースの140mトラックと6コースの200mトラックを設置。

幅とび

投てき、跳躍もこのように区分されています。

中学校女子バレー優勝 体育館落成に華添える



Bブロック1回戦 対大江山中学校

第13回横越近郷中学校女子バレーボール大会が竣工式の翌日・4月12日(日)に開催されました。

当日は、花冷えどころか春一番突風が吹き荒れる中、体育館では、12中学校が参加して熱戦を展開しました。

横越中学校女子バレー部が優勝しましたが、近郷では、力も二枚も実力上位を思

わせる戦いぶりでありました。なお、結果は、次のとおり参加中学校

- 村松 愛宕、山王中学
- 亀田 亀田、亀田西中学
- 京ヶ瀬 京ヶ瀬中学
- 五泉 五泉北中学
- 白根 白根第一、庄瀬中学
- 新潟 大江山、石山中学
- 新津 新津第二中学
- 横越 横越中学

以上12中学
決勝トーナメント

〈準決勝〉

| | | | |
|-------|--------|-------|--------|
| 山王中学2 | 151515 | 11117 | 1 庄瀬中学 |
| 横越中学2 | 1515 | 83 | 0 愛宕中学 |
| 横越中学2 | 1515 | 104 | 0 山王中学 |



球技場

広いレフト90メートル、ライト110メートルで内野黒土表土で運動がしやすくなっています。外野はサッカーの利用ができます。

平成4年度嘱託員会議開催 ラジオ体操会、横越大祭など協力依頼

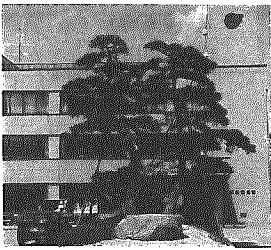
平成4年度の嘱託員会議が四月二十一日役場で開催されました。

嘱託員は、地域の取りまとめ役、住民と役場のパイプ役として重要な役割を担っていたにいたるもので、会議には、嘱託員と村から村長、助役をはじめ、各課長が出席しました。

村長からは挨拶として内外の諸情勢等とくに町制について国道、県道の整備をはじめ各種施策を推進しているが、単年度だけでなく、将来的に事業の整合性を持たせながら、五年以内に町制施行を目指すことが述べられ、助役からは、平成四年度予算の概要及び重点施策の説明、各課業務依頼などが行われ、村行政を円滑に推進するための協力要請がされたほか、文書配布についての質疑や意見交換が活発に行なわれました。

また、九月十五日開催される全国特別巡回ラジオ体操会や十月三、四日開催される横越大祭に向けての協力が求められました。

旧木津小学校の松を 役場庁舎前に移植



小学校から村のシンボルへ

木津小学校は、昭和51年に横越小学校に統合され廃校になりましたが、現在の双葉保育園の敷地の一角に松が残され管理されていました。

この度、保育園の陰で風があまりあたらないうちで一時弱りかけたのと銘木としての価値を高めるため、ふたたび多くの皆さんの目にふれる役場庁舎前に樹齢百年以上の松が移植されました。

地元に移植について要請して、それを受けて平成元年、木津の「構造改善センター」関係者の総会で松のそばにあった記念碑を双葉保育園の表に移植することを条件に松を役場庁舎前に移植することに了解していただいた経過があります。その後、松を移植しても大丈夫か試掘したり、根マワシをし、状況をみながら、ようやく平成4年4月に移植することができました。

木津の地元の方にも感謝しなければなりません。また、ある卒業生に聞きましたところ、「よつばら松の上のぼって、先生におこられたり、げんこつをもらった」というなつかしい思い出もある松です。



こんにちわ! 美浦村です

中には、お互いに過去に何か訪問され、旧交を温める場面もありました。

ところで、美浦村は、東京から70kmの距離にあり、東京経済圏域であるし、横越村も新潟経済圏域にあり、町制施行をにらんで変貌をとげつつあります。

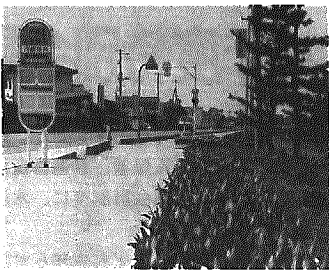
両村とも同じような環境下であるが美浦村の市川村長は、横越村に本当にくるたびに変化が著しいが、新潟市の百万都市構想下の中で、先見性をもった行政を推進しておられる議員村長に敬意を表します。

今後とも横越村に学ぶこともありますのでどうか知恵もお貸し願いたいと挨拶をされました。

なお、一行は、二十日に米村し、二十一日に帰京。

花ふれあい業 チューリップのプランター 村内に2,000個設置

く見ごろは、四月下旬〜五月上旬



国道49号線沿いに設置

このほど、村では、きれいなチューリップの花に親しんでもらおうと国道49号線歩道(川根谷内)や老人福祉センター、博物館遊歩道、ガソリンスタンドにチューリップを

植えたプランターを設置しました。

これは、国の転作特別交付金を活用し、村の特産であるチューリップで農業の活性化を図ろうと昨年のチューリップ球根を全戸配布したのに引きつづき、五品種のチューリップ一、〇〇〇個のプランターに植え設置したものです。

四月下旬から五月上旬ころが花の見ごろとなる見込みで、きれいな花が通行人や各施設利用者の目を楽しませてくれるように、みなさんも鑑賞してみてください。

美浦村議会が市川村長と来村 両村カッパル誕生も熱望

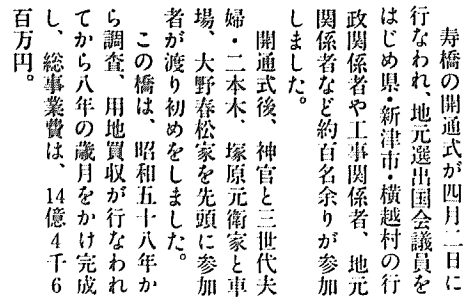
四月二十日、横越村との姉妹村である茨城県美浦村の市川村長と美浦村議会の一行18名が来村しました。

昭和六十年に横越村議会が美浦村を訪ずれてから、美浦村議会が横越村を訪ずれるのは、昭和40年と51年に続き3

回目となる。

美浦村議会の方は、村内施設を見学して役場に到着。美浦村の諸岡村議会議長は今後ともお互いに一層交流を深めていきたいと述べられ、また、何か、実りのある、品物が残るような交流というこ

寿橋(二本木地内)が開通



寿橋の開通式が四月二日に行なわれ、地元選出国會議員をはじめ、新津市・横越村の行政関係者や工事関係者、地元関係者など約百名余りが参加しました。

開通式後、神官と三代代夫婦・二本木、塚原元衛家と車場、大野春松家を先頭に参加者が渡り初めをしました。

この橋は、昭和五十八年から調査、用地買収が行なわれて、から八年の歳月をかけ完成し、総事業費は、14億4千6百万円。

寿橋 渡初め式